



北京師範大学化学学院

(Beijing Normal University)

(中華人民共和国)

交流協定締結年月日：2012年3月31日 主管学部：工学部



▲北京市のメインキャンパス



▲化学学院の建物



▲留学生の文化交流活動



国際交流の特色(大学紹介)

北京師範大学は、1902年に設立され、中国で最も歴史が長い大学のひとつである。中国の大学ランキングでは常に上位に入る超エリート大学であり、国家重点大学に選ばれている。26の学院と43の研究院等からなる総合大学であり、学生総数は約23,300人で、学部生約9,500人、大学院生約12,000人、長期留学生は約1,700人である。研究を中心とする大学院大学であり、国際交流が盛んである。化学学院は大学設立からある学部で、これまでに多くの著名な学者や研究者を世に送り出してきた。現在、教職員数118人、学部生定員150人、修士課程定員80人、博士課程定員40人となっている。

交流実績(平成24年度～26年度)

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受入・派遣			
学生派遣	0	0	1
研究者・職員派遣	2	1	1
学生受入	1	1	0
研究者・職員受入	3	0	0

教員からの声

北京師範大学の楊教授と17年前から交流し、共同研究を行ってきたことで、2011年に北京師範大学を訪問した際、さらに交流を深めるため、新たな共同研究を立ち上げました。これをきっかけに、2012年3月に交流協定を結ぶことになりました。2012年10月より、北京師範大学から交換留学生として博士課程の学生を香川大学に受入し、一年間、新規太陽電池の開発に関する共同研究を実施しています。北京師範大学は、中国のトップレベルの大学です。国際交流が活発で世界各国から留学生を受け入れており、国内外の研究者との交流も盛んです。

工学部 教授 馮旗

学生からの声

私は北京師範大学化学学院出身で、2012年10月から1年間、交換留学生として材料創造工学科の馮教授の研究室に留学していました。香川大学は研究設備や予算が充実しており学生はほとんどの研究装置を自分で操作することに驚きました。中国の大学では専任のオペレーターがおり、装置を触ることができません。さらに学会や学術活動が盛んです。香川大学留学の1年間に4回学会に参加し、研究者との交流ができました。国際交流活動も多く、日本の文化や歴史等に触れられ、よかったです。現在、留学の成果を論文作成しています。

杜 意思

北京師範大学
(Beijing Normal University)
ホームページ <http://english.bnu.edu.cn/>

●学部学生 9,200人
●大学院生 12,800人

●教職員 3,300人
●留学生 1,800人